

復興のあゆみ



令和3年3月

松島町

はじめに

東日本大震災により犠牲になられた方々に対し改めて哀悼の意を表します。

東日本大震災の発生から10年の歳月が経過しました。

この間、国内外からの多くの心温まる御支援のもと、各関係機関・団体等の皆さまと連携しながら、被災者の生活再建と安全・安心なまちづくりの実現に向けて取り組んでまいりました。

平成23年（2011年度）12月に策定した「松島町震災復興計画」では、平成27年度（2015年度）までの5年間で「復旧期・復興期」と位置づけ、平成28年度（2016年度）以降は単なる復旧・復興に留まらない創造的な復興を目指す「創造期」として、松島町長期総合計画に包含する形で各種の復旧・復興事業を実施してまいりました。

本誌「復興のあゆみ」は、松島町震災復興計画と松島町長期総合計画に基づき実施してきた復興関連事業について、これまでの進捗・経過などをまとめたものです。

復興関連事業はおおむね完了の運びとなりましたが、町民の皆さまが安全・安心な暮らしを継続していけるよう、今後も引き続き、各種取り組みを推進して参りますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和3年3月

松島町長
櫻井 公一

目次

はじめに

- 1 東日本大震災の概況と被災状況…………… 1
- 2 松島町震災復興計画の概要…………… 2
- 3 東日本大震災からの道のり…………… 3
- 4 都市基盤の復興…………… 6
- 5 生活の復興…………… 8
- 6 観光・産業の復興…………… 10
- 7 松島町復興交付金事業一覧表、災害支援協定関連一覧表…………… 12



表紙：「未来」

町内の小学3年生へ未来に語り継いでほしいという思いを込めて、全員で『未来』という文字を描きました。

※令和3年2月撮影

場所：松島町立松島第一小学校校庭

当日の様子をまとめた動画はこちらから



1 東日本大震災の概況と被災状況

1 地震の概要

①発生日時	平成 23 年（2011 年）3 月 11 日（金）14 時 46 分
②震央地名	三陸沖（北緯 38.0 度、東経 143.9 度 牡鹿半島の東約 130km）
③震源の深さ	約 24km
④規模	マグニチュード 9.0（観測史上最大） 松島町 震度 6 弱（宮城県最大の 栗原市・震度 7）
⑤津波発生	津波の高さ T.P.+2.2m（長田地区潮位計に基づく推計値） （16 時 13 分 松島町第 1 波到達） 津波の高さ T.P.+2.6m（長田地区潮位計に基づく推計値） （16 時 40 分 松島町第 2 波到達）

2 被災状況

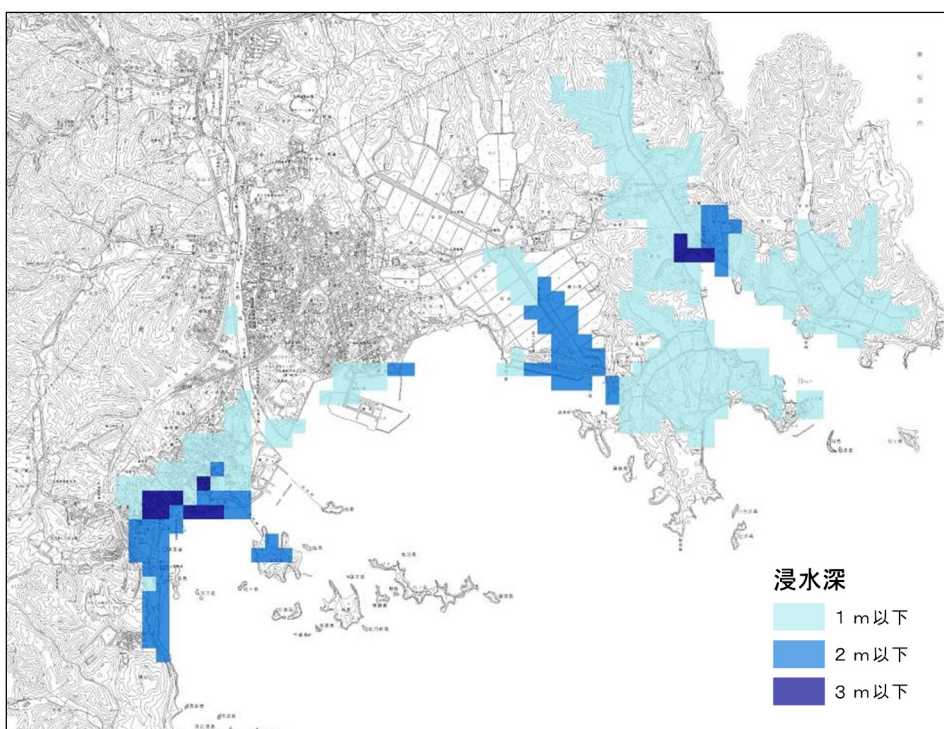
①人的被害	町民で亡くなった方 16 人（町内で 2 人、町外で 14 人） 行方不明者 0 人 重傷者 3 人 軽傷者 34 人
②概況	店舗や住宅への浸水及び全半壊、ブロック塀の倒壊、外壁の崩落、崖崩れ、道路の亀裂等
③津波浸水面積	170.6 ヘクタール（東日本大震災による被災現況調査結果）
④家屋等被害	全壊 221 戸 大規模半壊 362 戸 半壊 1,231 戸 一部損壊 1,562 戸 ※上記のうち、床上浸水：192 戸、床下浸水：91 戸

3 避難所・避難者数【ピーク時：平成 23 年（2011 年）3 月 12 日】

①避難所数	45 箇所
②避難者数	3,719 人

東日本大震災に伴う津波の浸水区域と浸水深の状況

町域約 5,356 ヘクタールのうち約 170.6 ヘクタールが津波により浸水し、沿岸部の一部地域では浸水深が 2m を超えるなど甚大な被害を受けました。



資料：東日本大震災による被災現況調査結果関連資料

被災状況の写真



津波で冠水した国道 45 号（松島）



倒壊した家屋（高城）



津波で崩壊した堤防（手樽）

2 松島町震災復興計画（平成23年12月策定）の概要

1 復興政策の目標

※平成28年度(2016年度)以降は「松島町長期総合計画」へ包含されています。

復興政策は、計画コンセプトを柱として、都市基盤（主にハード施策）、生活（主にソフト施策）、観光・産業（産業復興施策）の3つの目標に重点を置いて、震災復興を進めてきました。

目標1 安全・安心の復旧・復興と創造的なまちづくり

（都市基盤の復興）

松島湾に面し、これからも美しい自然や豊かな海の恵みとともに発展を目指す本町は、より安全・安心な都市基盤の整備、強化などを推進します。

目標2 町民の命と生活を守る防災まちづくり

（生活の復興）

被災者の生活再建の支援を図るとともに、安全で安心して暮らし続けることができる防災まちづくりを推進します。

目標3 宮城、東北を牽引する観光と地域産業によるまちづくり

（観光・産業の復興）

松島湾に面し、これからも美しい自然や豊かな海の恵みとともに発展を目指す本町は、より安全・安心な都市基盤の整備、強化などを推進します。

2 計画期間

本計画は、平成23年度（2011年度）から平成27年度（2015年度）までの5カ年を基本的な計画期間としており、施策の内容により、平成28年度以降も継続的に取り組んできました。

平成23年度(2011年度)～平成27年度(2015年度)	平成28年度(2016年度)～
復旧期・復興期	創造期

■復興に向けた基本方針図（ゾーン別）



都市基盤の復興

- ・地震に伴う道路やライフライン等の基盤施設の復旧

生活の復興

- ・情報伝達手段などの防災対策の機能強化

観光・産業の復興

- ・農林業と観光との連携による地産地消の推進

都市基盤の復興

- ・ライフラインや交通など、災害発生時の代替手段の確保・強化

生活の復興

- ・高齢者や障がい者などの災害時の要援護者への支援体制の強化

観光・産業の復興

- ・住民、事業者及び行政等の連携による時代の変化に対応した商工業の振興

都市基盤の復興

- ・津波・地震に伴う道路、港湾、河川等の基盤施設の復旧・復興

生活の復興

- ・津波・内水対策も含めた総合的な防災機能の強化

観光・産業の復興

- ・農業・水産業の復興と官民連携による安全・安心な観光地の形成

3 東日本大震災からの道のり

1 復旧・復興状況(令和3年3月現在)

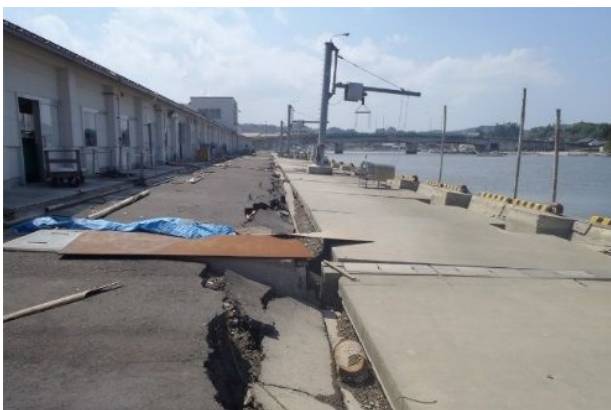
震災直後



現在



◆雄島 渡月橋:津波により落橋した渡月橋が完成しました。



◆磯崎漁港(磯島):損壊した物揚場の復旧整備が完了しました。



◆堤防(手樽):崩壊した農地海岸堤防の復旧が完了しました。



◆農地(手樽):冠水した農地の除塩対策が終了し営農が再開しています。

3 東日本大震災からの道のり

1 復興のあゆみ

松島町では、平成23年(2011年)12月に策定した松島町震災復興計画に基づき、復興のまちづくりを進めてきました。これまでの復興に関する主な出来事や取り組みを以下に示します。

平成23年(2011年)	
3月11日	東日本大震災が発生
3月12日	秋田県にかほ市(夫婦町)副市長及び職員が来町し救援物資を提供
3月17日	上水道の復旧開始(手樽、上竹谷、下竹谷、北小泉地区の一部で通水開始)
3月18日	町内ほぼ全域で電気復旧
3月26日	被災者生活支援再建支援の窓口開設(役場3階)
4月1日	町営バスの運行再開
4月5日	東北本線(岩切駅～松島駅間)が運転再開
4月29日	観光遊覧船が運航再開
6月9日	震災後初のツアー客として沖縄から東北応援ツアーが来町
7月8日	秋篠宮ご夫妻がマリニピア松島水族館を視察と激励
7月19日	「松島町震災復興基本方針」を公表
7月31日	「松島町震災復興会議」を設置
8月14日	松島流灯会海の盆を、供養行事としての原点回帰をテーマに開催
8月21日	「松島復興への提言」を公表
10月9日	震災復興がんばろう東北!松島マラソンが開催
11月24日	震災復興祈願松島大漁かき祭りin磯島を開催
12月28日	「松島町震災復興計画」を策定



秋篠宮ご夫妻の視察



松島流灯会 海の盆



にかほ市との夫婦町締結25周年記念式典

平成24年(2012年)	
1月17日	松島町安心安全メールサービスを開始
2月4日	松島復興かき祭りを開催
2月17日	「松島町復興整備協議会」を設置
3月11日	東日本大震災松島町犠牲者追悼式を挙行
4月24日	東松島市と災害相互支援に関する協定を締結
8月6日	秋田県にかほ市との夫婦町締結25周年記念式典を開催 秋田県にかほ市と災害相互支援に関する協定を締結
10月1日	松島町宅地かさ上げ等事業費補助金制度の受付開始
10月4日	愛知県武豊町と災害相互支援に関する協定を締結
11月3日	埼玉県滑川町と災害相互支援に関する協定を締結



雄島「渡月橋」完成

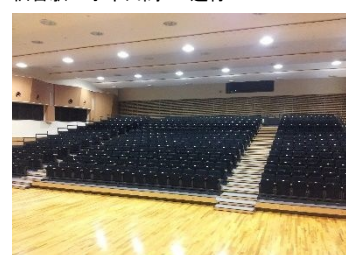


災害廃棄物処理状況

平成25年(2013年)	
3月27日	県道小牛田松島線初原バイパス開通
6月29日~6月30日	仙台・宮城DCキャンペーンに伴う仙台駅～小牛田間SL運行
7月1日	松島町津波被災住宅再建支援事業補助金制度の受付開始
7月1日	雄島「渡月橋」完成
7月30日	災害廃棄物処理完了
9月27日~10月13日	ルツェルン・フェスティバルアーク・ノヴァ松島2013開催
9月29日	文化観光交流館改修完了に伴うオープン
12月3日	仙台コカ・コーラボトリング株式会社仙台支店と清涼飲料水供給に関する協定を締結
12月6日	松島湾が日本で初めて「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟
12月27日	松島町役場旧庁舎閉庁



仙台駅～小牛田間 SL 運行



文化観光交流館

平成 26 年 (2014 年)

1月 6日	松島町役場新庁舎へ移転
6月30日	山形県中山町と災害相互支援に関する協定を締結
7月19日	高城コミュニティセンターの開設
7月20日	広島県廿日市市・京都府宮津市と災害相互支援に関する協定を締結



松島町役場庁舎の移転

平成 27 年 (2015 年)

2月16日	公益社団法人 宮城県トラック協会塩釜支部と災害時における緊急物資の輸送に関する協定を締結
3月31日	手樽海浜公園 改修完了
4月 1日	災害公営住宅(華園地区)の引渡開始
5月10日	マリニピア松島水族館 閉館
5月30日	JR仙石線(高城町～陸前小野区間復旧)が全線運転再開
7月 1日	災害公営住宅(美映の丘地区)の引渡開始
7月28日	千賀の浦福祉会・松島みどりの家・功寿会・コスモケア株式会社・有限会社マミーホーム・松島町社会福祉協議会・松島医療生活協同組合・松の実福祉会と災害発生時における福祉避難所の確保に関する協定を締結
8月 5日	松島産業株式会社(現ランドワーク株式会社)と災害時における一時避難所としての使用に関する協定を締結
8月 5日	ヤマト運輸株式会社宮城主管支店と災害時における避難所等への物資の配送等に関する協定を締結
10月15日	西行戻しの松公園のパノラマハウス 供用開始



高城コミュニティセンターの開設



災害公営住宅の引渡開始

平成 28 年 (2016 年)

3月31日	松島町震災復興計画を包含した「松島町長期総合計画」を公表
4月19日	くろしおLPガス協議会・一般社団法人 宮城県LPガス協会と災害時におけるLPガスの供給等に関する協定を締結
8月 1日	三十刈避難場所の供用開始



石田沢防災センターの開所式

平成 29 年 (2017 年)

4月29日	石田沢防災センター供用開始
6月 8日	松島周辺の観光拠点推進に関する包括連携協定締結
12月 1日	石巻市と原子力災害時における住民の広域避難に関する協定を締結



松島周辺の観光拠点整備推進に関する包括連携協定締結

平成 30 年 (2018 年)

2月 9日	特定非営利活動法人 アドバンス・特定非営利活動法人 結いのこころと災害発生時における福祉避難所の確保に関する協定を締結
3月 1日	磯崎漁港共同利用施設の供用開始
6月24日	瑞巖寺 落慶法要



瑞巖寺落慶法要

平成 31 年・令和元年 (2019 年)

6月21日	「鎮魂と復興への祈念碑」除幕式 ひょうごボランティアプラザより寄贈
7月12日	手樽を元気にする協議会(TGK)オープニングイベント開催
9月11日	JR仙石線松島海岸駅バリアフリー設備整備工事開始
11月24日	安倍晋三内閣総理大臣台風19号被災地視察



「鎮魂と復興への祈念碑」の除幕式

令和 2 年 (2020 年)

3月 1日	東北本線品井沼駅新駅舎完成
6月15日	松島大橋の開通
8月 3日	特定非営利活動法人 コメリ災害対策センターと災害時における応急物資の供給等に関する協定を締結
10月 3日	松島橋の開通
11月 5日	日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定を締結
11月12日	松島どんぐり太陽光発電所(メガソーラー)の竣工(松島太陽光発電合同会社)



松島橋の開通

※赤字：復旧・復興事業の完成

4 都市基盤の復興

松島町震災復興計画の政策目標である「安全・安心の復旧・復興と創造的なまちづくり」の実現に向けて、都市基盤の整備、強化を実施しました。

1 避難場所・防災広場の整備

地域住民や観光客等の避難生活の場となる避難施設、物資配給や災害情報の収集・発信の場となる防災広場を整備しました。

三十刈避難場所	避難場所：2.4ha
石田沢防災センター	避難場所：2.0ha 防災まちづくり拠点施設：984㎡
西行戻しの松公園	避難場所：2.0ha
東浜地区避難場所	避難場所：8,000㎡
本郷地区防災広場	避難場所：1,300㎡
三居山周辺防災広場	避難場所：1,530㎡



三十刈避難場所



石田沢防災センター

2 避難施設の整備

住民や来訪者等の安全確保とともに、地域活力の復興に向け、復興まちづくり支援施設を整備しました。

松島地区	避難施設：5箇所
高城・磯崎地区	避難施設：4箇所
手樽地区	避難施設：4箇所



白萩避難所



高城コミュニティーセンター



松島海岸公園避難施設



高城地区津波避難施設（2階一部・3階）



復興まちづくり支援施設（パノラマハウス）

《パノラマハウス来場者数》

パノラマハウスは地域住民や観光客の避難施設に位置づけられています。復興まちづくり支援施設として復旧・改築したことで、来場者数は震災前より増加しています。

震災前（H22）	震災後（H30）
21,700件	24,573件

3 避難路の整備

海岸沿いから迅速かつ安全に避難するための避難路を整備しました。

松島地区	高城・松島線外 5 路線、垣ノ内幹線外 1 路線、霞ヶ浦幹線外 3 路線
高城・磯崎地区	(都) 根廻磯崎線、上竹谷・高城線外 13 路線、磯崎・高城町駅線外 4 路線
手樽地区	手樽・富山駅線外 3 路線、柿ノ浦線



松島パノラマ線



(都) 根廻磯崎線



名籠線

4 下水道施設等の整備

震災に伴う地盤沈下の影響から生じている排水機能低下や浸水による日常生活の支障の改善・解消に向け、雨水ポンプ場・排水路・調整池等を整備しました。

ポンプ場	小石浜、普賢堂、蛇ヶ崎、小梨屋、町、磯崎、長田、浪打浜、高城浜の各排水区
導排水路	(ポンプ場 9 箇所、導排水路 L=3,190m)
下水道管渠	松島地区 (移設 : L=653m)



長田雨水ポンプ場



小梨屋雨水ポンプ場



蛇ヶ崎排水区排水路

5 橋梁の架け替え

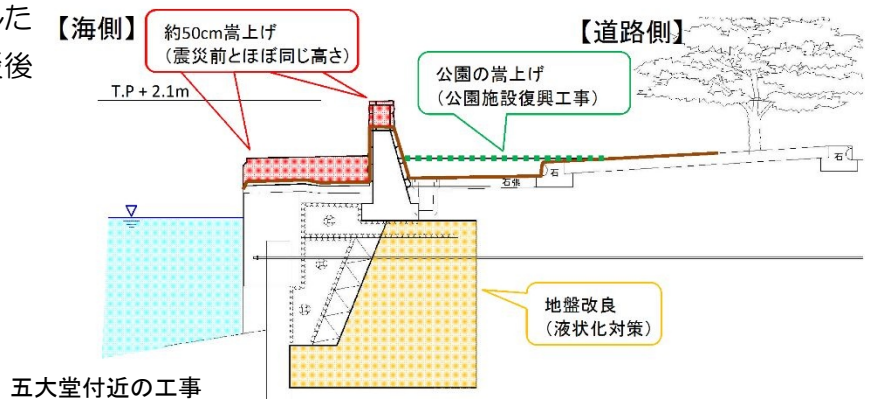
高城川の堤防復旧計画と調整しつつ、松島大橋と松島橋の架け替えを実施しました。



松島大橋

6 防潮堤の整備

震災により地盤沈下 (約 50cm) した護岸を嵩上げし、被災前の高さ (震災後の計画高) まで復旧しました。



5 生活の復興

松島町震災復興計画の政策目標である「町民の命と生活を守る防災まちづくり」の実現に向けて、被災者の生活再建を支援し、安全で安心して暮らせる防災まちづくりを推進しました。

1 災害公営住宅の整備

町内の6割の家屋が損傷・損壊したため、被災者の居住に必要な災害公営住宅・駐車場を整備しました。

美映の丘地区	木造住宅：35戸、駐車場：23台
華園地区	木造住宅：17戸、駐車場：17台



災害公営住宅（美映の丘地区）



防災広場（美映の丘地区）



災害公営住宅（華園地区）

2 漁業集落の整備

漁業集落の宅地について、早期の生活再建に向け、地盤嵩上げや、排水施設、集落道等を整備しました。

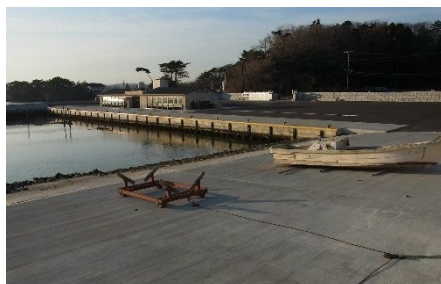
名籠漁港	用地嵩上げ 21,340㎡、漁業集落道 780m
早川漁港	導排水路 294m
大浜漁港	用地嵩上げ 4,300㎡、漁業集落道 90m
銭神漁港	用地嵩上げ 7,400㎡、漁業集落道 100m



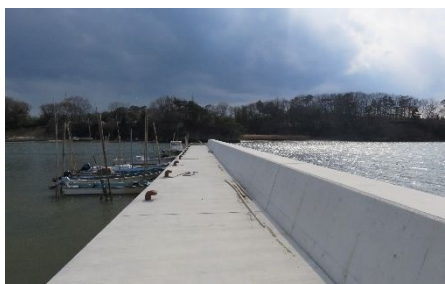
嵩上げエリア（名籠地区）



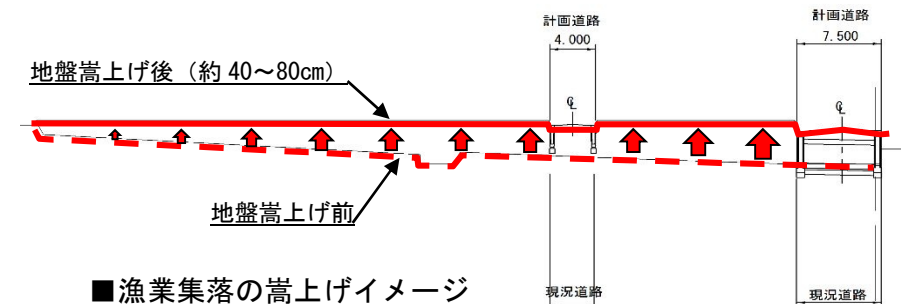
集落内道路（名籠地区）



嵩上げ後の銭神漁港



銭神漁港



3 住宅再建と生活の支援

被災者を対象に住まいの確保や各種生活支援を実施しました。

津波被災住宅再建支援事業補助金給付	震災による津波被害を受け、町内で住宅を再建する方に対し、津波被災住宅の再建支援補助金を交付
宅地かさ上げ等事業費補助金給付	沿岸地域の浸水被害対策と宅地等所有者の生活再建を図るため、防災対策事業に対して補助金を交付
被災者生活再建支援金給付	被災者生活再建支援法に基づき、住宅の被害程度と再建方法に応じた支援金を給付
定住促進事業補助金給付	定住促進と被災者の復興支援を図るため、町内に住宅を取得する方に対して補助金を交付
町税等の減免措置	住宅や家財などに損害を受けた場合の個人町民税・国民健康保険税の軽減、住宅に損害を受けた場合の固定資産税・都市計画税の軽減

4 公共交通の復旧

震災直後に運転休止となったJR線を補完するため、松島駅から岩切駅間の臨時バスを運行しました。また、町営バスは、平成23年（2011年）4月1日から運転を再開しました。

なお、平成27年（2015年）5月30日には、松島駅から高城町駅間を仙石線と東北本線の接続線として整備した仙石東北ラインの運行が開始されました。

JR 東北本線	仙台駅～岩切駅	H23.3.31 運転再開
	岩切駅～松島駅	H23.4.5 運転再開
	松島駅～小牛田駅	H23.4.9 運転再開
JR 仙石線	あおば通駅～小鶴新田駅	H23.3.28 運転再開
	小鶴新田駅～東塩釜駅	H23.4.19 運転再開
	東塩釜駅～高城町駅	H23.5.28 運転再開
	高城町駅～陸前小野駅	H27.5.30 運転再開



JR 仙石線

5 防災施設の整備

震災において食料や医療等の備蓄物資が大幅に不足したことや、長期にわたり断水や停電が続いたことを教訓とし、各地域の避難所等に備蓄倉庫、耐震性貯水槽、自家発電設備を整備しました。

備蓄倉庫 (8箇所)	三十刈、石田沢、第一小学校、磯崎、松島運動公園、本郷ふれあいセンター、手樽地域交流センター、松島フットボールセンター
耐震性貯水槽 (6箇所)	石田沢、第一小学校隣接、白萩、松島運動公園、手樽地域交流センター、松島フットボールセンター
自家発電設備 (5箇所)	石田沢、第一小学校、磯崎、松島運動公園、松島フットボールセンター



備蓄倉庫（本郷ふれあいセンター隣接地）

6 防災体制の強化

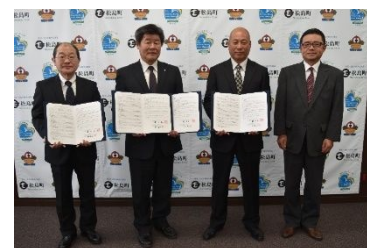
避難所開設訓練や消火訓練、避難者輸送訓練など学校、地域、行政等が一体となった防災訓練を行うとともに、地域で組織される自主防災組織を結成し、自助・共助・公助による防災体制の強化を推進しました。



松島町総合防災訓練

7 災害発生時における協定締結（12ページに一覧表を掲載）

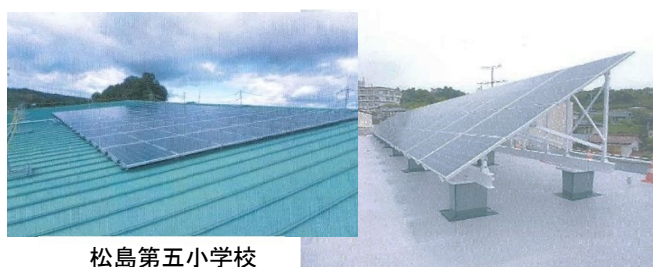
大規模災害に備え、災害時の職員派遣や物資の提供、被災者支援など、県外をはじめとする自治体との災害相互支援協定や、民間企業・団体との災害支援協定の締結を行いました。



福祉避難所の確保に関する協定締結

8 再生可能エネルギーの導入促進

再生可能エネルギー等導入事業補助金を活用して、二次避難所となる保健福祉センターや小中学校に太陽光発電設備を設置し、災害時の避難所運営等に活用します。



松島第五小学校

松島第一小学校

6 観光・産業の復興

松島町震災復興計画の政策目標である「宮城、東北を牽引する観光と地域産業によるまちづくり」の実現に向けて、安全で魅力的な観光地の再構築と地域産業の再建を推進しました。

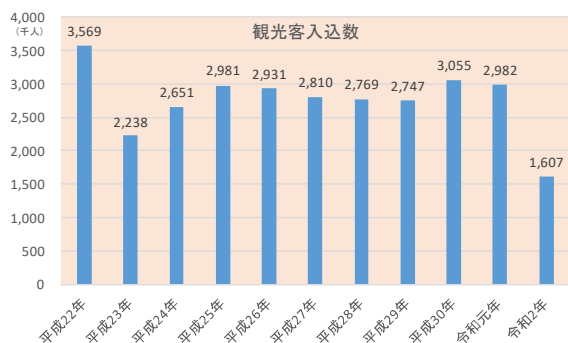
1 観光の復興

多くの観光客等で賑わう松島公園からの速やかな避難、津波漂流物が市街地へ流入し既存店舗や住宅・観光施設に衝突する被害の軽減及び避難行動や救急・支援活動に資する国道45号の道路空間の確保等を目的として、松島公園を津波防災緑地として整備しています。

津波防災緑地整備	整備面積：6ha(松島公園内)
----------	-----------------

《観光の動向》

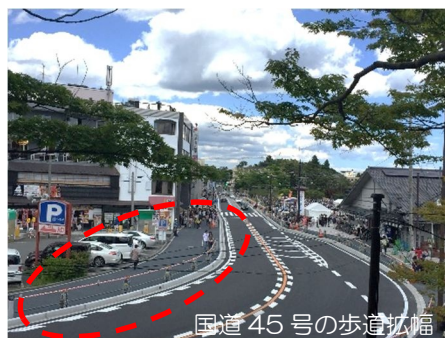
松島町の観光客入込数は、震災以降、回復傾向にありますが、震災前の水準までは回復していない状況となっています。



また、地域住民・観光客等の避難機能（歩行避難）の充実・強化に向けた国道45号の拡幅整備を実施しました。歩道幅員を拡幅することで、観光客等の回遊性も高まります。



【拡幅前】歩道幅員 2.5m



【拡幅後】歩道幅員 4.5m

2 「日本遺産」認定

平成28年(2016年)4月25日、文化庁が選ぶ「日本遺産」に、「政宗が育んだ“伊達”な文化」(構成市町：仙台・多賀城・塩竈・松島)が認定されました。日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我国の文化・伝統を語るストーリーを認定するものです。宮城県・仙台市・多賀城市・塩竈市と共同してPR活動に取り組んでいます。



松島の月

3 JR仙石線松島海岸駅のバリアフリー化

東日本旅客鉄道株式会社、宮城県及び松島町は、平成 29 年（2017 年）6 月 8 日に三者で締結した「松島周辺の観光拠点整備推進に関する包括連携協定」に基づき、松島町の主要駅である松島海岸駅のバリアフリー化工事を実施しています。新駅舎の開業は、令和 3 年 12 月頃の予定です。



松島海岸駅バリアフリー設備整備後のイメージ

4 農業の復興

津波で被災した手樽地区の農地・農業用施設等の生産基盤や、集落排水施設等の集落基盤等の総合的な整備を実施しました。

手樽地区農地基盤整備 (ほ場整備)	整備面積：171ha
----------------------	------------



手樽地区の農地

5 水産業の復興

地盤沈下等の被害を受けた名籠漁港、銭神漁港、古浦漁港の漁港施設用地の嵩上げ、排水施設、用地舗装等の整備を実施しました。また、磯崎漁港が漁具倉庫の損壊や漁具の滅失等の被害を受けたことから、水産業の復興に向けて水産業共同利用施設を整備しました。

漁港施設機能強化事業	名籠漁港：用地嵩上げ	4,000 m ²
	銭神漁港：用地嵩上げ	3,000 m ²
	古浦漁港：用地嵩上げ	4,000 m ²
磯崎漁港共同利用施設復興整備事業	水産業共同利用施設(漁具倉庫)	600 m ²



磯崎漁港共同利用施設

6 商工業の復興

松島町の地理的優位性や恵まれた交通条件を生かし企業誘致や産業誘致等の推進を図るため、中小企業者に対する振興資金の貸付けを行うとともに、企業誘致に向けた企業立地セミナーに参加しています。

7 起業・創業の支援

産業の振興及び地域経済の活性化を図るため、町内で新たに創業を目指す方を対象に、創業を開始するまでの必要な経費の一部を補助しています。

8 定住促進の支援

定住促進及び被災者の復興支援を図るため、町外から松島町に転入する方、又は町民で今回の震災により住宅が半壊以上の被害を受けた方を対象に、住宅取得に要した費用の一部を補助しています。また、定住促進セミナーの開催など、移住定住の促進に向けた取り組みを実施しています。

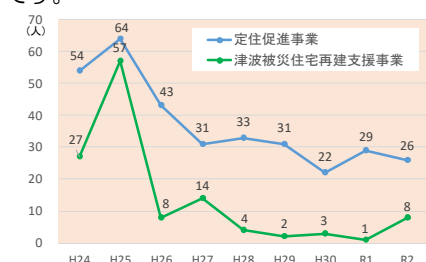
《補助件数の推移》

松島町創業者支援事業の年度別の補助件数は、以下のとおりです。

平成 28 年度	3 件
平成 29 年度	4 件
平成 30 年度	3 件
令和元年度	5 件
令和 2 年度	2 件

《補助件数の推移》

津波被災住宅再建支援事業及び定住促進事業の年度別の補助件数は、以下のとおりです。



7 松島町復興交付金事業一覧表、災害支援協定関連一覧表

松島町では、国や宮城県と連携しながら、松島町震災復興計画に掲げる目標を目指して、復興関連事業として全56事業に取り組みました。また、東日本大震災が発生する以前より、災害時に迅速な対応がとれるように、各自治体や企業、住民団体との広域的な応援体制を締結しております。

【復興交付金事業一覧表】

事業区分
【災害公営住宅関連事業：7事業】 東日本大震災で被災された方の居住に必要な災害公営住宅及び駐車場の整備を行うとともに、入居者の経済的な負担を緩和するため、当該災害公営住宅の家賃低廉化を図りました。
【避難場所・防災広場関連事業：6事業】 津波被害を受けた松島地区を対象に津波浸水区域の背後地に地域住民及び観光客等の避難生活の場を確保する避難施設の整備を行うとともに、物資配給等の応急・救急活動の拠点、災害情報の収集・発進の場所として機能する防災広場等の整備を行いました。
【避難施設関連事業：7事業】 住民や、来訪者等の安全確保とともに、地域活力の復興に向けて、地域住民の活動拠点となる災害時に避難可能な復興まちづくり支援施設の整備を行いました。
【避難道路関連事業：11事業】 松島地区において、海岸沿いからの迅速かつ安全な避難を行うためと、分散している集落と幹線道路とのネットワークを確立し、物資輸送・医療救急に機能する路線として避難道路の整備を行いました。
【防災施設関連事業：3事業】 食料や医療等の備蓄物資の不足や、長期にわたる断水・停電に備えて、各地域の避難所等に備蓄倉庫、耐震性貯水槽、自家発電設備の整備を行いました。
【内水対策関連事業：3事業】 排水機能低下や浸水による日常生活の支障の改善・解消に向け、雨水ポンプ場・排水路・調整池等を整備しました。また、松島地区においては、避難路整備に伴い必要となる下水道管渠の移設工事も行いました。
【漁業集落・漁港施設関連事業：8事業】 漁業集落の地盤高上げや、排水施設、集落道等の生活基盤を整備し、地域水産業と漁業集落の早期復興を推進し、浅海養殖漁業の拠点港としての機能を果たす水産業共同利用施設の整備を図りました。
【まちづくり計画関連事業：4事業】 津波シミュレーションを実施し、その結果を踏まえた避難マニュアルを策定しました。また、松島町復興交付金事業の調整、計画の見直し等のマネジメントを受けながら、各種復興事業の円滑な推進を図りました。
【県実施関連事業：7事業】 宮城県が実施した事業として、松島地区においては、国道45号の道路空間の確保や、松島公園の津波防災緑地としての整備を実施しました。また、磯崎漁港における景観の保持、美化を図るため、漁港の環境整備や、手樽地区の農地整備を実施しました。
合計 56事業

【災害支援協定関連一覧表】

	協 定 先	協定締結日
1	・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町 大和町・大郷町・富谷町・大衡村 (二市・宮城郡・黒川郡) ※2市6町1村協定	H7.11.14
2	・みやぎ生活協同組合	H9.1.14
3	・宮城県石油商業協同組合塩釜支部 ・宮城県石油商業協同組合黒川支部	H10.11.4
4	・仙台市 ※塩釜地区消防事務組合として協定締結	H13.4.1
5	・松島地区災害防止協議会	H16.10.1
6	・宮城県 ・市町村社会福祉協議会	H16.12.1
7	・宮城県知事 ・宮城県市長会会長 ・宮城県町村会会長	H16.7.26
8	・社会福祉法人 松島町社会福祉協議会	H17.3.25
9	・宮城県塩釜医師会	H18.3.29
10	・東北電力株式会社 塩釜営業所 ※二市三町連名で協定締結	H20.3.27
11	・松島旅館組合 ・社団法人松島観光協会	H20.5.17
12	・松島島巡り観光船企業組合 ・松島バイククルーズ株式会社 ・丸文松島汽船株式会社 ・一般社団法人松島観光協会	H20.5.17
13	・宮城県解体工事業協同組合	H21.12.7
14	・東松島市	H24.4.24
15	・秋田県 にかほ市	H24.8.6
16	・愛知県 武豊町	H24.10.4
17	・埼玉県 滑川町	H24.11.3
18	・仙台コカ・コーラボトリング株式会社 仙台支店	H25.12.3
19	・山形県 中山町	H26.6.30
20	・広島県 廿日市市 ・京都府 宮津市	H26.7.20
21	・公益社団法人宮城県トラック協会 塩釜支部	H27.2.16
22	・社会福祉法人 千賀の浦福祉会 ・医療法人友仁会 老人保健施設 松島みどりの家 ・社会福祉法人 功寿会 ・コスモスケア株式会社 ・有限会社 マミーホーム ・社会福祉法人 松島町社会福祉協議会 ・松島医療生活協同組合 ・社会福祉法人 松の実福祉会	H27.7.28
23	・松島産業株式会社	H27.8.5
24	・ヤマト運輸株式会社 宮城主管支店	H27.8.5
25	・くろしおLPガス協議会 ・一般社団法人 宮城県LPガス協会	H28.4.19
26	・石巻市	H29.12.1
27	・特定非営利法人 アドバンス 「デイサービスセンターいっぶく」 ・特定非営利法人 結いのこころ 「里山デイサービスひより」	H30.2.8
28	・特定非営利法人 コメリ災害対策センター	R2.8.3
29	・日本郵便株式会社 (松島郵便局、松島海岸郵便局、初原郵便局、品井沼駅前郵便局、仙台東郵便局)	R2.11.5
総数：29 (うち、官公庁との協定は9)		

※赤字：官公庁

《復興と共に成長する子ども達》

震災が発生した年に生まれ、現在、小学3年生になった子ども達は、復興後の未来に向けて希望を与えてくれながら、松島町の復旧・復興と共に大きく成長しています。

◆松島第一小学校 三年 小野 謙さん

僕は、震災について今回初めて詳しく知りました。お話を聞いて思ったことは、津波は怖いということです。津波で多くの建物が流されたり、逃げ遅れたりした人もいてかわいそうでした。松島も大きな被害があったということが分かりました。写真を見たら変わりがた松島でした。

地震や津波の怖さがよく分かったので、避難の仕方などしっかり確認していきたいと思います。



◆松島第一小学校 三年 木村 望愛さん

私は、津波によって一瞬でいつも見ている風景が変わってしまうことにとっても驚きました。何メートルもの津波が町を襲ったことが信じられませんでした。話を聞く前までは、ひどかったんだなということしか思っていませんでしたが、今は本当に怖くて、苦しくて大変だったんだなと思いました。

私は、今の友達や家族と一緒にいることが出来て本当によかったなと思いました。



◆松島第二小学校 三年 佐々木 高翔さん

地震が来たら、まず頭を守って揺れるのが収まるのを待ちます。家では、テーブルや机の下に潜るように言われています。少し前の大きな地震の時は、ヘルメットを被ってテーブルの下で夜を過ごしました。

もっと大きな地震があった時は、地域の人達との協力も大切になると思うので、普段から挨拶などしていきたいです。



◆松島第二小学校 三年 菊池 真緒さん

地震が来た時、私が気を付けたいことは、家族と離れ離れにならない様に避難することです。避難訓練を生かしたり、大人の方の言うことを聞いたりして、安全に避難したいです。

私は、地震があっても、皆で協力して助け合えるような優しい人がいっぱいいるような松島にしたいと思います。



◆松島第五小学校 三年 高橋 琴さん

2月13日に強い地震が来たときは、すごく泣いて、自分の部屋から逃げようと思いました。それから、震えが止まりませんでした。その後も弱い地震が起きて震えていました。地震に備えて気を付けていることは、地震のせいで開かなくなる事があるので自分の部屋のドアを開けておくことです。

震災と聞いて思い浮かべることは、津波の被害と大切な人を失うことなので、起きて欲しくありません。



◆松島第五小学校 三年 角田 紗優奈さん

2月13日に地震が起きた時、私は、怖くて怖くて布団に頭まで潜り込んでブルブル震えていました。津波が来るんじゃないかと心配だったけど、来ないと分かってすごく安心しました。

寝る時や家で遊んでいる時はいつも、出来るだけ棚や食器が無いところに居るようにしていきます。これからも、命を大切に守ってしていきたいです。



震災復興に関する特別授業

令和3年2月25日、町内の小学3年生を対象に、震災が起きたことで松島はどうなってしまったのか、またその後の復興の様子について映像を交えながら授業を行いました。

復興のあゆみ

震災より10年間、松島町の早期の復旧・復興事業完了を目指し、全国各地の自治体より職員の派遣をして頂きましたこと、そして、長期間に渡り勤務地を離れ、ご家族とも離れ、被災地である松島町の復興にご尽力頂きましたこと、松島町を代表して御礼申し上げます。

本来であれば、各個人のご氏名をお知らせすべきところでございますが、個人情報となりますので市町村名のみとさせていただきます。

皆様、本当にありがとうございました。

◆町の復旧・復興事業にご尽力頂いた市区町一覧

復興庁	(平成30年度～令和 2年度)	4名
宮城県	(平成24年度～令和 2年度)	29名
神奈川県	(平成26年度～令和 2年度)	26名
秋田県秋田市	(平成25年度～平成29年度)	5名
秋田県にかほ市	(平成24年度～平成29年度)	4名
埼玉県滑川町	(平成24年度～令和 元年度)	13名
東京都豊島区	(平成24年度～平成28年度)	6名
岐阜県大垣市	(平成24年度～平成30年度)	14名
愛知県武豊町	(平成23年度～平成24年度)	6名
京都府宮津市	(平成25年度)	1名
岡山県井原市	(平成24年度)	1名
広島県廿日市市	(平成25年度～平成28年度)	7名
長崎県新上五島町	(平成23年度)	1名

◆震災発災より被災地支援・応急復旧作業にご尽力頂いた市区町一覧

秋田県にかほ市	三重県企業庁	奈良県
東京都港区	三重県津市	奈良県奈良市
東京都新宿区	三重県四日市市	岡山県岡山市
東京都台東区	三重県桑名市	岡山県倉敷市
東京都墨田区	三重県いなべ市	広島県東広島市
東京都目黒区	三重県木曾岬町	佐賀県
東京都大田区	三重県東員町	長崎県佐世保市
東京都杉並区	京都府	大分県
東京都北区	京都府福知山市	日本赤十字社宮城県支部
東京都荒川区	兵庫県	
東京都練馬区	兵庫県伊丹市	
東京都葛飾区	兵庫県宝塚市	(順不同)



令和3年3月

松島町企画調整課

〒981-0215 宮城県宮城郡松島町高城字帰命院下一 19番地の1

TEL 022-354-5702 FAX 022-354-3140

E-mail info@town.matsushima.miyagi.jp

URL <http://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/>